

# 樹医からのアドバイス (Vol.28)

～花を咲かせたい！夏季の樹木管理～

出雲市樹医センター

樹医 槇野 浩二郎

サツキなど花が咲かなかったり、多く咲かせる方法を教えてほしいという相談を受ける事があります。それは花芽分化期や樹木の性質と関係があります

## 【花芽分化】

芽ができることを「花芽分化（はなめぶんか）」と言います。サツキ、ハナミズキ、カイドウ、タニウツギなど春に花を咲かせるほとんどの樹木が7月中旬～8月中旬の夏の間に花芽分化します。

## 【剪定の時期】

特に先端に花を付けるサツキなどの樹木は、花芽分化した後に剪定を行うと花芽を摘んでしまい、翌年に花が咲かなくなります。これらの剪定は8月中旬までに行うと良いでしょう。また、モクレンの仲間やツバキなど早春に花を付ける樹木は7月中旬までに花芽分化しますので、それまでに剪定を行います。

## 【樹木の性質】

スギの花粉は、前年の夏の天候が猛暑で乾燥した場合に多く発生します。

竹は枯れる前に花を付ける習性があります。このように樹木は危機的な状況に置かれると子孫を残そうとして花をたくさん付ける性質があります。庭木も花芽分化するときに危機的な状況に置かれると花を良く付けますので、夏場の水やりや、葉を肥やす窒素肥料はできるだけ控えます。

## 【水やりの時期】

夏場の水やりは夕方に行います。樹木は日の出から午前中に蒸散が活発になりますので、夕方に水やりを行うことによって、早朝に水を吸収できる良い環境となります。



花をたくさんつけたキリシマツツジ